



バドミントンは、いつ、どこで始まったの

インドで始まり、イギリスで確立した

あなたは、バドミントンをやったことがありますか。バドミントンは、せまい場所で、気軽
にだれでも楽しめるスポーツですね。

バドミントンは、1820年ごろさかんになった、インドの「プーナ」というゲームが元
になったと考えられています。プーナは、1873年にイギリスに伝わりました。グロス
ター州のボーフォートという領主が、このゲームに熱心で、新しくバドミントンのル
ールを作り上げました。このときに、現在のバドミントンの原型ができ上がったのです。バド
ミントンという名前は、この領主の屋敷の名前からつけられたといわれています。

日本には、1920（大正9）年に伝わり、YMCA（キリスト教青年会）を通じて
広がりました。1946（昭和21）年に日本バドミントン協会がつけられ、1948年
には、第1回全日本選手権が行われました。

国際大会としては、男子の世界選手権「トマスカップ」と、女子の「ユバーカップ」が
有名です。1992年のバルセロナオリンピックから、正式種目に取り入れられました。

バドミントンのおもしろさ

バドミントンは、シャトル（羽根のついた球）を打って競技するものですが、このシャ
トルのスピードは、速いときは時速310キロメートルにもなり、おそいときは止まったよう
になります。このシャトルのスピードの差が、おもしろいのです。

シャトルの大きな羽のため、空気がじゃまして、スピードが急に落ちたりするので、拾え
る範囲も広くなり、意外性があります。また、相手の動きを予測する楽しさもあるゲームで
す。（監修・青木 国夫）

